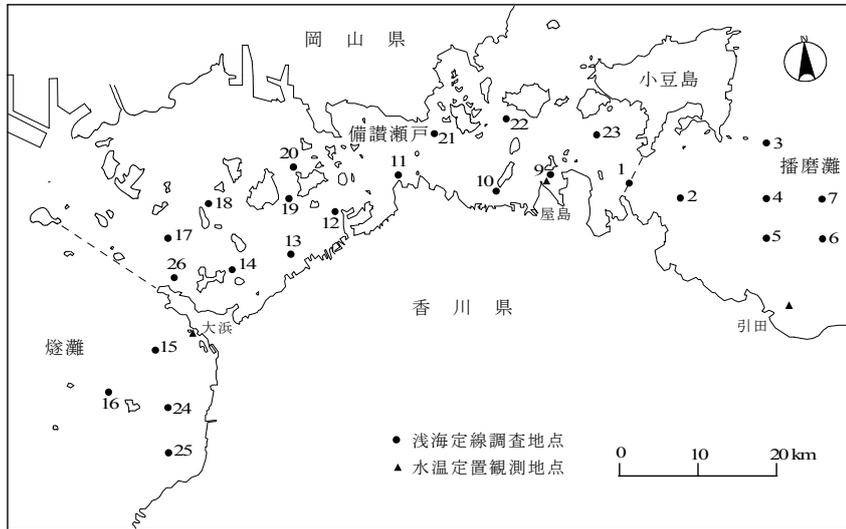


# 香川県漁海況情報 平成 23 年 3 月 (H22-12 号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成 23 年 3 月 3 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 1 日 (播磨灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「平年並みからかなり高め」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

3 月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透 明 度 (m)	溶 存 酸 素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	8.6	8.5	8.4	32.9	32.9	33.1	8.3	6.45	6.40
	平年値	8.7	8.6	8.5	32.7	32.8	32.8	9.4	6.68	6.55
	平年偏差	-0.1	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	0.5	1.9	0.34	0.31
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	9.1	9.0	9.0	33.2	33.2	33.2	8.0	6.56	6.55
	平年値	8.8	8.7	8.7	32.9	32.9	32.9	5.8	6.45	6.47
	平年偏差	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	2.2	0.11	0.09
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	1.3	0.32	0.33
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高め	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	9.8	9.7	9.8	33.5	33.5	33.5	10.6	6.39	6.40
	平年値	9.6	9.4	9.3	33.1	33.2	33.2	8.1	6.60	6.35
	平年偏差	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	2.5	-0.20	0.06
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	0.5	0.4	0.4	2.0	0.38	0.44
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み  $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$  ( $\sigma$  : 標準偏差)

やや高め (やや低め)  $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め)  $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め)  $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

### 3) 定置観測 (水温)

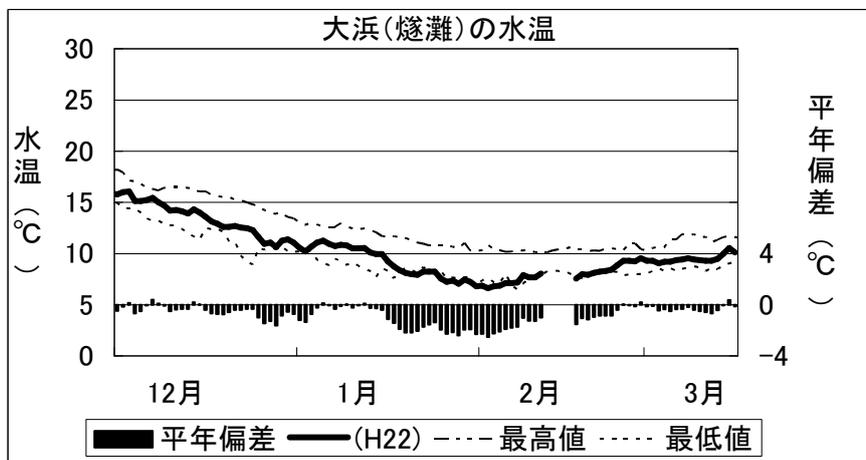
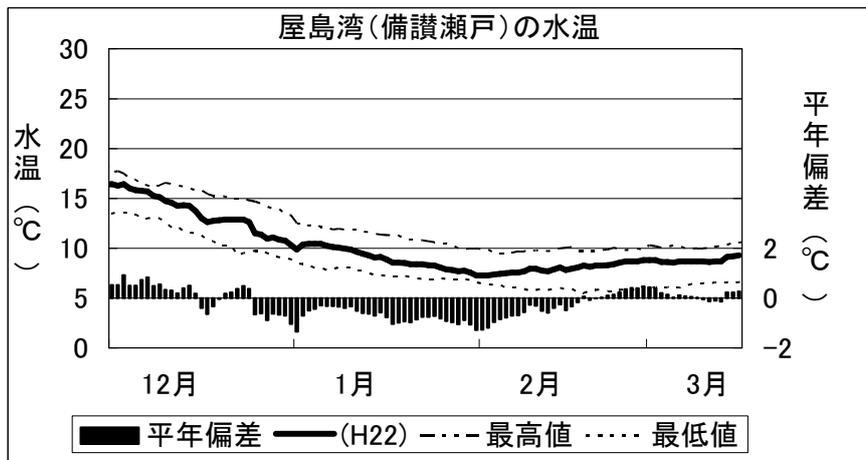
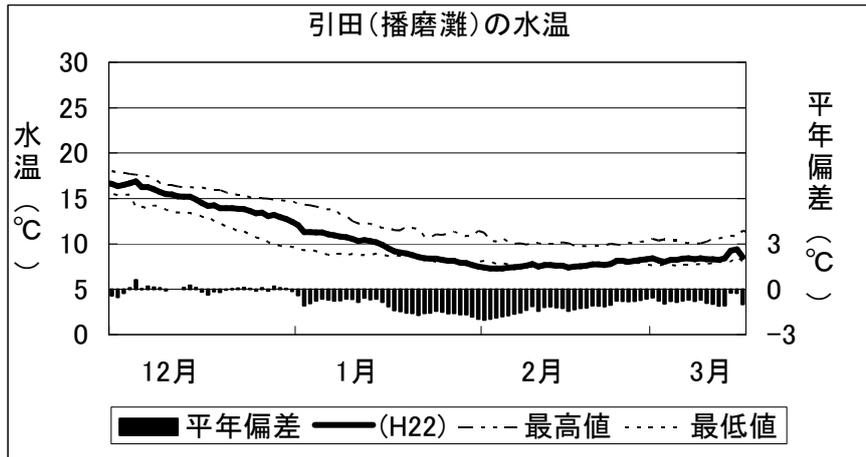
播磨灘 (引田) : 12月はやや低めから平年並み, 1月は平年並みから著しく低め, 2月は著しく低めからやや低め, 3月はやや低めからかなり低めで推移している。(1月下旬に2日, 2月上旬に7日, 中旬に3日, 過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 12月はやや高めからやや低めで推移していたが, 1月は平年並みからかなり低め, 2月はかなり低めから平年並みの間, 3月は平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 12月は平年並みからかなり低め, 1月は平年並みから著しく低め, 2月は著しく低めから平年並み, 3月はやや低めから平年並みの間で推移している。(1月上旬に1日, 下旬に10日, 2月上旬に5日, 中旬に1日, 過去最低値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜:平成元(1989)~平成21(2009)年

屋島:昭和50(1975)~平成21(2009)年



#### 4) 赤潮 (2月19日～3月22日)

播磨灘：発生なし。  
 備讃瀬戸：発生なし。  
 燧灘：発生なし。

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成23年3月3日 (備讃瀬戸, 燧灘), 1日 (播磨灘)

出現量

ー：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年(1980)度～平成21年(2009)年度

マイワシ：平成6年(1994)度～平成21年(2009)年度

イカナゴ(3月)：平成8年(1996)～平成22年(2010)年

		カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.05		
	対平年(%)	-	-	-	-	-	0		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.05		
	対平年(%)	-	-	-	0	-	0		
燧灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.09		
	対平年(%)	-	-	0	0	-	0.0		
総平均	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.05		
	対平年(%)	-	-	0	0	-	0		

カタクチイワシ, マイワシの卵・稚仔, イカナゴの稚仔はいずれも確認されませんでした。

## 2. 漁況

2月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にマダイ、スズキ (小)、シロギス、ヒラメ、メイタガレイ、マコガレイ、ウシノシタ類、カサゴ、オニオコゼ、マアナゴ、タイラギ、イイダコ、アカニシが漁獲されている。また、マダイ、シロギスは好調、タイラギは前月より増加傾向、ヒラメ、マコガレイ、ウシノシタ類は低調、その他の魚種は前年並みである。</p> <p>建網では主にクロダイ、スズキ (小)、メバル、カサゴが漁獲されているが低調である。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にマダイ、スズキ、コイチ、クロダイ、メイタガレイ、イイダコ、アカニシが漁獲されている。</p> <p>建網では主にスズキ、マダイ、クロダイ、メバル、カサゴが漁獲されている。</p> <p>庵治・高松沖におけるイカナゴ込網によるフルセ (親魚) の漁獲量は約407トンと好調である。シンコ漁は庵治では3月1日から始まり、比較的好調であるが、庵治以西では低調な漁模様となっている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にスズキ、メイタガレイ、オニオコゼ、ウシノシタ類、フグ類、シャコ、小エビ類が漁獲されている。</p>